

# 「令和3年度 学力・学習状況調査」の結果から

令和3年12月 岩出小学校

## ◆学力定着・向上の状況（概況）

本校では令和元年度から今年度までの3年間、授業の中で図書を積極的に活用し、「調べ学習」を軸に「思考力」を高めるための授業改善に取り組んできました。その結果、子供たちは本に慣れ親しみ、本の貸出量も大変多く、意欲的に読書活動を行うことができています。また、昨年度はワークシートや思考ツールを活用することで、自分の考えを整理し、まとめることが出来るようになってきました。今年度は自分の考えを「表現する力」を子供たちにつけたいと、取り組みを進めています。また②の表に提示していますように、今年度の4・5年生の岩出市学力調査の結果から国語の学力が昨年度より向上していることがわかりました。6年生については以下に整理しています。

## ① 全国学力・学習状況調査（推移）

6年生	教科	H30年度	R元年度	R3年度
全国平均 正答率と の差	国語 A	▲3.2	1.9	0.3
	国語 B	1.6		
	算数 A	1.5	1.3	3.8
	算数 B	1.7		

（令和元年度から A・B が統合されました）

## ② 市学力調査（令和3年度）【参考】

	教科	3年生	4年生	5年生
目標値との差	国語	4.1	3.0	3.6
	算数	9.1	▲1.2	▲0.7



### ①の表より〈考察〉

#### 「国語」について

正答率は令和元年度と比べて 1.6p 全国平均との差を縮め、下がってしまいました。特に弱分野として『読むこと』に課題があります。しかし、思考力・判断力・表現力の『話すこと・聞くこと』では和歌山県平均を上回り、『書くこと』においては和歌山県・全国平均を上回っています。

#### 「算数」について

正答率は令和元年度と比べて 2.5p 全国平均との差をより広げ、力がついてきていることがわかりました。学習指導要領の領域別にみても全ての領域において和歌山県平均・全国平均の正答率を上回っています。しかし『割合』『グラフ』の分野に少し弱いところがありました。

### 「児童質問紙」より

#### 自尊感情

以前は関係項目で県・国平均を下回る傾向にありましたが、今年度は県・国平均を上回っています。特に「自分にはよいところがある」や「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童の割合が県・全国平均より 5p 以上高くなり、児童の自尊心向上がみられました。

#### 生活習慣

多少、就寝時間にバラツキのあることが見受けられます。また、平日、携帯式やスマートフォンのゲームを1日当たり2時間以上している児童が50%近くいることがわかりました。

## 規範意識

「いじめはどんな理由があってもいけない」と答えた児童は 98.3%でした。「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」と答えた児童は 58.6%でした。また、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と答えた児童も約半数でした。

## 学習習慣

「国語や算数の授業が好き」「国語や算数の授業がよく分かる」と答えた児童は県・全国平均を上回っていますが、「課題解決に向けて主体的に学習した」と答えた児童が比較すると少なく、家庭学習の予習・復習も含め主体的（計画的）に学習する習慣が身に付いていないことがうかがえます。

毎日、2時間以上学校の授業以外で勉強している児童の割合は 22.4%と県・全国平均と比べて 5p 以上下回っていました。

## 本校の今後の取り組みについて

### 学習面

- 国語科では「読み取る力」をつけるため、文章を読み取る問題の誤答からその間違いを見つけるといった課題に取り組み、条件について深く考えることができる学習を進めます。また、修飾語など文章構成の学習にも力を入れます。
- 今後も「朝学の計算プリント」「漢字の博士試験」など、児童が目標を持って取り組めるよう指導助言を行います。また、個別の補充学習の充実を図り、弱点強化に努めます。算数以外の教科でも統計を用いた授業を取り入れていきます。
- 休み時間や放課後などを利用して、宿題等の間違い直しを徹底するなどの補充学習を行い、丁寧な指導に努めます。また、それを通して家庭学習につながるよう取り組んでいきます。
- 自主勉強のノートを紹介する等、児童の自宅学習の意欲を高めるよう努めます。
- GIGA スクール構想に係る一人一台端末を効果的に活用し、学習過程を工夫します。

### 自尊感情

- 自尊感情の高まりが学習意欲の向上にもつながることより、今後も児童の自己有用感・自尊感情が高まるよう、児童の心に寄り添い、個を大切にしたい指導を心がけます。

### 生活習慣

- 規則正しい生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯等…）は児童の成長に大変重要であることやネット依存症の危険性などを通信や掲示物等で児童に伝え、指導していきます。（保護者の皆様のご協力をお願い致します）

### 規範意識

- 1.7%の児童がいじめをしても良いと考えていることを重くとらえ、「いじめはあってはいけない」という考え方を 100%にできるよう、今後も人を大切にする気持ちを育む取り組みや日々の指導を行っていきます。また、学級活動や児童会、委員会、授業での意見交換で、考えの理由や動機などを伝え、自分と異なる意見を受け入れやすい環境作りに努めていきます。その他、社会の一員としての役割について意識を高められるよう、今後も体験活動や外部講師を招いての授業などを多く取り入れ、機会を見つけて学習を進めていきます。